

職業訓練教材コンクールの概要

1 目的・沿革等

職業訓練教材コンクール(以下「教材コンクール」という。)は、人材開発に携わっている方々などが、各現場や実践する場面において、日々の「創意工夫」により開発した「教科書」や「映像・シミュレータ」などの様々な「教材」について、「訓練指導時の当該教材使用による訓練実施効果の向上が見込まれる」などの審査観点に基づいて、応募作品から、「コンクール」として優秀な教材作品を選定し、その成果をたたえ、広く人材開発関係者などへ周知広報・普及することによって、訓練指導技法の技術・技能水準の向上を図るとともに、人材開発関係者などの意識をより一層啓発し、人材開発の推進や向上に資することを目的として、昭和48年度より実施しており、第2回(昭和49年度)以降は「職業能力開発論文コンクール」と、それぞれ隔年で実施しており、「教材コンクール」としては、今回・令和4年度で第26回目を迎える。

2 主催

厚生労働省

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

中央職業能力開発協会

3 表彰の種類

- 厚生労働大臣賞(特選)
厚生労働大臣賞(入選)
- 特別賞
 - ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞
 - ・中央職業能力開発協会 会長賞

4 教材の応募状況及び表彰授賞状況

(1) 応募教材作品数

平成30年度	92件
令和2年度	108件
令和4年度	94件

(2) 授賞作品数 (令和4年度)

厚生労働大臣賞(特選)	1作品
厚生労働大臣賞(入選)	4作品
特別賞(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞)	6作品
特別賞(中央職業能力開発協会 会長賞)	5作品